

*** 令和5年度調布市下水道事業決算の状況 ***

1 概況

(1) 総括事項

ア 事業総括

下水道施設の機能を維持し、将来にわたり安定した下水道事業経営を行っていくため、「調布市下水道ビジョン（計画期間：令和3年度～令和12年度）」に基づき総合的かつ計画的に下水道事業を推進しています。

令和5年度は、前年度に続き、災害に強い都市基盤の整備及び持続的な下水道事業の一層の推進とともに、情報発信の強化を図るため、主に次の6事業に取り組みました。

1点目は、令和元年東日本台風（台風第19号）の再度災害防止に向けた浸水対策として、狛江市と連携し、大規模ポンプ施設等を整備するため基本設計等を実施しました。

令和6年度は、引き続き基本設計を実施し、完了後、詳細設計に着手します。

また、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の考えに基づき、市内全域を対象とした浸水対策のマスタープランとなる雨水管理総合計画（令和7年度策定予定）の検討に着手しました。

2点目は、下水道の地震対策計画の令和6年度策定に向けて、地盤の液状化予測に基づき、マンホールと管渠の接続部の可とう化工事（弾力化し、地震の揺れを吸収して耐震化を図る工事）やマンホール浮上抑制対策等の基本方針について検討しました。

3点目は、下水道管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、「調布市下水道ストックマネジメント計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）」に基づき、予防保全型維持管理の一環として、老朽化・劣化対策事業を実施しました。内容としては、管更生工事（既設下水道管の内面に新管を構築する工法）及びマンホール蓋交換工事（マンホール蓋の飛散による事故を予防保全）を実施するとともに、計画に基づいた点検・調査に着実に取り組みました。

また、事後保全型から予防保全型の維持管理への転換を更に進めていくため、管路の維持管理業務の一部に、官民連携手法の一つである包括的民間委託（複数業務を一括して複数年度契約する手法）の令和6年度からの導入に向けて、契約に係る仕様を決定し、事業者選定を実施しました。

4点目は、老朽化・災害による停電等、ポンプ場の機能不全リスクの解消や脱炭素社会への貢献、長期的な事業費の縮減のため、令和6年度の工事完了を目指して取り組んでいる仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化事業（ポンプによる圧送から下水道管路施設新設による自然流下方式への切替え）として、令和3年度に着工した調布市公共下水道42号幹線新設工事を継続して実施しました。また、近隣住民への広報の一環として、工事現場の見学会を開催しました。

5点目は、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画である「経営戦略」の令和6年度改定に向けた取組を行いました。有識者等で構成する「調布市下水道事業経営戦略改定検討に係る専門委員会」を立ち上げ、下水道事業の現状分析及び経営課題を抽出するとともに、適切な下水道使用料水準の在り方等について検討しました。

6点目は、市民等の下水道事業の理解の促進を目指した広報の取組を実施しました。令和元年8月に開始したゲゲゲの鬼太郎デザインのマンホールカードの配布枚数は、令

和5年度末に累計が2万9000枚を超えました。また、小学生の夏休み自由研究に役立つような下水道に関するホームページコンテンツを拡充（市職員がマンホールに潜入する様子を紹介した動画等の掲載）するとともに、市内小学校の4年生にチラシを配布して周知しました。さらに、調布市多摩川自然情報館において、「浸水被害の記憶を忘れない」と題して令和元年東日本台風の記録写真等を展示し、浸水被害の記憶を風化させないだけでなく、下水道の役割や整備の重要性について、市民への周知を図りました。

イ 経営総括

貸借対照表で示される当年度末時点における財政状態は、次のとおりです。

1点目として、資産については、資産合計額 294億 2,018万円余のうち、固定資産が277億 4,022万円余で前年度比 7億 2,468万円余の減、流動資産が16億 7,995万円余で前年度比 2億 5,292万円余の増となりました。

なお、流動資産のうち、当年度末時点の現金預金残高は12億 9,525万円余で前年度比 9,649万円余の増となりました。

また、現金預金の収支を伴う資産・負債の増減に係る資本的収支について、資本的支出額は、老朽化・劣化対策事業費が 7,578万円余の増となった一方で、浸水対策事業費が前年度比 1億 6,217万円余の減、自然流下化事業費が 9,563万円余の減となるなど、総額で14億 5,610万円余となり前年度比 2,733万円余の減となりました。

一方、資本的収入額は、事業費の減少に伴い企業債の借入額が 1億 5,280万円減となるなど、総額では10億 8,371万円余となり前年度比 6,128万円余の減となりました。

その結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は 3億 7,239万円余となり、下水道事業の内部に蓄えられている補てん財源での補てんにより、当年度末の補てん財源残高は 9億 9,430万円余で前年度比 2億 4,406万円余の増となりました。

2点目として、負債については、負債合計額 262億 3,541万円余のうち、固定負債が79億 5,496万円余で前年度比 4億 7,964万円余の増、流動負債が10億 5,764万円余で前年度比 4,999万円余の増、繰延収益が 172億 2,280万円余で前年度比 9億 6,588万円余の減となりました。

なお、老朽化・劣化対策事業、自然流下化事業、都市計画道路整備等に伴う下水道整備、流域下水道事業を行うため、企業債を借り入れた結果、固定負債・流動負債の企業債残高は合計で83億 3,772万円余となり、前年度比 5億 2,070万円余の増となりました。将来的に負担する額の内訳は、一般会計が49億 567万円余、下水道事業会計が残りの34億 3,205万円余となっています。

3点目として、資本については、資本合計額が31億 8,477万円余で前年度比 3,551万円余の減となりました。

次に、損益計算書で示される経営状況については、年間の総収益から総費用を差し引いた当年度純損益が 3,551万円余の純損失となり、当年度純損益の累計額である当年度未処理欠損金は、 6,853万円余（営業収益に対する当年度未処理欠損金の割合を表す累積欠損金比率は2.3パーセント）となりました。

以上のことから、財政状態を総括すると、当年度末の現金預金残高や補てん財源残高が、前年度比では増となったものの、前年度の純利益の計上から一転して純損失となり、減価償却費等の損益勘定留保資金の当年度計上分を、補てん財源として全額蓄えることができおりません。このため、今後は、次年度以降の資本的収支不足額の補てんに備

え、補てん財源残高の確保に努めていく必要があります。

また、企業債残高の状況については、主要事業である自然流下化事業、老朽化・劣化対策事業等に係る建設改良費の増加傾向に連動して、未償還残高が増加したものの、企業債残高対事業規模比率について類似団体よりも大幅に低い水準となっています。今後は、浸水対策事業、老朽化・劣化対策事業等の重点事業により建設改良費の増加が見込まれることから、元利償還に伴う財政負担と世代間の負担の公平性のバランスを考慮し、企業債を有効に活用して参ります。

次に、経営状況を総括すると、公営企業会計に移行後、初となる純利益を確保した前年度から一転して、管路補修工事費及び下水道使用料徴収委託料等の増加により純損失となりました。

今後の下水道事業を取り巻く環境は、下水道施設の急速な老朽化に伴う更新需要、災害対策の強化、維持管理費や建設工事費の高騰に伴い支出の増加が見込まれます。一方、収入については、人口減少に加え、節水技術の進展及び市民等の節水意識の向上により下水道使用料の減収が予想されます。

このため、令和5年度は、下水道事業経営戦略（調布市下水道ビジョン（令和2年度策定。計画期間：令和3年度～令和12年度））の令和6年度改定に向けて、調布市下水道事業経営戦略改定検討に係る専門委員会を設置し、経営課題の解決に向けた財務シミュレーションの実施や適切な下水道使用料水準の在り方の検討を進めました。引き続き、下水道事業を取り巻く環境に注視し対策を講じるとともに、経営戦略改定に向けた検討を進め、将来にわたり安定的な下水道サービスの提供が維持できるよう下水道事業経営を推進して参ります。

(ア) 貸借対照表の概要（前年度との増減の比較）

科 目	令和5年度 (構成比)	令和4年度 (構成比)	比較 上段：増減額 下段：増減率
資産	29,420,189,030 (100.0%)	29,891,955,326 (100.0%)	△471,766,296 (△1.6%)
固定資産	27,740,229,623 (94.3%)	28,464,919,374 (95.2%)	△724,689,751 (△2.5%)
有形固定資産	24,711,392,219 (84.0%)	25,465,065,516 (85.2%)	△753,673,297 (△3.0%)
無形固定資産	3,028,837,404 (10.3%)	2,999,853,858 (10.0%)	28,983,546 (1.0%)
流動資産	1,679,959,407 (5.7%)	1,427,035,952 (4.8%)	252,923,455 (17.7%)
現金預金	1,295,258,102 (4.4%)	1,198,764,235 (4.0%)	96,493,867 (8.0%)
未収金	384,701,305 (1.3%)	228,271,717 (0.8%)	156,429,588 (68.5%)
資産合計	29,420,189,030 (100.0%)	29,891,955,326 (100.0%)	△471,766,296 (△1.6%)

※構成比は端数調整していないため、各項目の合計値が100%とならない場合あり

(イ) キャッシュ・フロー計算書に基づく現金預金の増減額の内訳

項 目	令和5年度	令和4年度	増減額
業務活動によるキャッシュ・フロー	626,236,227	522,093,902	104,142,325
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,051,047,891	△841,809,971	△209,237,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	521,305,531	690,763,950	△169,458,419
現金預金増減額	96,493,867	371,047,881	△274,554,014

(消費税抜, 単位: 円)

科 目	令和5年度 (構成比)	令和4年度 (構成比)	比較 上段: 増減額 下段: 増減率
負債	26,235,413,560 (89.2%)	26,671,666,566 (89.2%)	△436,253,006 (△1.6%)
固定負債	7,954,962,891 (27.0%)	7,475,322,058 (25.0%)	479,640,833 (6.4%)
企業債	7,954,962,891 (27.0%)	7,475,322,058 (25.0%)	479,640,833 (6.4%)
流動負債	1,057,647,601 (3.6%)	1,007,652,153 (3.4%)	49,995,448 (5.0%)
企業債	382,759,167 (1.3%)	341,694,058 (1.1%)	41,065,109 (12.0%)
未払金その他	674,888,434 (2.3%)	665,958,095 (2.2%)	8,930,339 (1.3%)
繰延収益	17,222,803,068 (58.5%)	18,188,692,355 (60.8%)	△965,889,287 (△5.3%)
資本	3,184,775,470 (10.8%)	3,220,288,760 (10.8%)	△35,513,290 (△1.1%)
資本金	3,253,314,608 (11.1%)	3,253,314,608 (10.9%)	0 (0.0%)
剰余金	△68,539,138 (△0.2%)	△33,025,848 (△0.1%)	△35,513,290 (-)
資本剰余金	114 (0.0%)	114 (0.0%)	0 (0.0%)
利益剰余金	△68,539,252 (△0.2%)	△33,025,962 (△0.1%)	△35,513,290 (-)
負債資本合計	29,420,189,030 (100.0%)	29,891,955,326 (100.0%)	△471,766,296 (△1.6%)

(単位: 円)

備 考
通常の業務活動の実施によるキャッシュ・フロー (投資活動・財務活動以外の収支)
固定資産の取得及び売却等によるキャッシュ・フロー (建設改良費に対する支出等)
資金の調達及び返済によるキャッシュ・フロー (企業債の借入・償還による収支等)

ウ 業務の状況

当年度末時点の処理区域内人口23万 9,247人に対する水洗便所設置済人口は23万 9,198人で、前年度比 293人（0.1パーセント）の増となりました。なお、水洗化率は 99.98パーセントで、前年度から増減はありません。

また、市内全域の雨水処理水量と汚水処理水量を合算した年間総処理水量は3,952万 8,898㎥で、前年度比55万 413㎥（1.4パーセント）の増となりました。

このうち、下水道使用料の徴収対象となる年間有収水量は 2,420万 9,862㎥となり、前年度比14万 7,320㎥（0.6パーセント）の減となりました。なお、これに対する当年度分の下水道使用料の調定額は19億 9,367万 8,898円、前年度比 398万 1,382円（0.2パーセント）の減となりました。

エ 経理の状況

(ア) 収益的収支（消費税及び地方消費税を除く（以下「消費税抜」という。））

当年度の収益的収支は、総収益（下水道事業収益）が42億 2,630万 3,387円で、前年度比 5,302万 4,352円（1.3パーセント）の増となりました。一方、総費用（下水道事業費用）は42億 6,181万 6,677円で、前年度比 1億 169万 1,635円（2.4パーセント）の増となりました。

総収益のうち、営業収益は29億 5,141万 6,476円（下水道使用料18億 1,243万 5,366円、雨水処理負担金11億 1,012万 2,368円等）で、総収益の69.8パーセントを占め、前年度比 8,254万 7,664円の増となりました。

営業外収益は12億 7,488万 6,911円（長期前受金戻入12億 3,119万 3,956円、他会計負担金 4,046万 9,142円等）で、総収益の30.2パーセントを占め、前年度比 2,952万 3,312円の減となりました。

一方、総費用のうち、営業費用は40億 8,448万 9,658円（減価償却費18億 374万 246円、流域下水道管理運営費13億 8,894万 949円等）で、総費用の95.8パーセントを占め、前年度比 9,010万 9,643円の増となりました。

営業外費用は 1億 7,732万 7,019円（支払利息及び企業債取扱諸費1億 450万 8,508円、雑支出 7,281万 8,511円）で、総費用の 4.2パーセントを占め、前年度比 1,158万 1,992円の増となりました。

この結果、収益から費用を差し引いた損益は、それぞれ次のとおりとなりました。

- ・ 営業収益から営業費用を差し引いた営業損益が11億 3,307万 3,182円の損失（前年度比 756万 1,979円の損失増）
- ・ 営業損益から営業外収支（営業外収益－営業外費用）を差し引いた経常損益が 3,551万 3,290円の損失（前年度比 4,866万 7,283円の損失増）
- ・ 総収益から総費用を差し引いた当年度純損益が 3,551万 3,290円の損失（前年度比 4,866万 7,283円の損失増）
- ・ 当年度純損益の累計額である当年度未処理欠損金が 6,853万 9,252円（前年度比 3,551万 3,290円の増）

a 収益的収支の概要（前年度との増減の比較）

（消費税抜，単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
総収益（下水道事業収益）	4,226,303,387	4,173,279,035	53,024,352	1.3%
営業収益	2,951,416,476	2,868,868,812	82,547,664	2.9%
営業外収益	1,274,886,911	1,304,410,223	△29,523,312	△2.3%
特別利益	0	0	0	-
総費用（下水道事業費用）	4,261,816,677	4,160,125,042	101,691,635	2.4%
営業費用	4,084,489,658	3,994,380,015	90,109,643	2.3%
営業外費用	177,327,019	165,745,027	11,581,992	7.0%
特別損失	0	0	0	-
営業損益	△1,133,073,182	△1,125,511,203	△7,561,979	-
経常損益	△35,513,290	13,153,993	△48,667,283	-
当年度純損益	△35,513,290	13,153,993	△48,667,283	-
前年度繰越利益剰余金	△33,025,962	△46,179,955	13,153,993	-
当年度未処分利益剰余金	△68,539,252	△33,025,962	△35,513,290	-

※ 損益の△は損失，前年度繰越利益剰余金の△は前年度繰越欠損金，当年度未処分利益剰余金の△は当年度未処理欠損金

(4) 資本的収支（消費税及び地方消費税を含む（以下「消費税込」という。））

当年度の資本的収支は，資本的収入が10億 8,371万 3,435円で，前年度比6,128万 5,989円（5.4パーセント）の減となりました。一方，資本的支出は14億 5,610万 5,843円で，前年度比2,733万 156円（1.8パーセント）の減となりました。また，資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3億 7,239万 2,408円を補てん財源で補てんした結果，補てん財源の差引残高は9億 9,430万 8,793円となりました。

資本的収入のうち，企業債は8億 6,240万円で資本的収入の79.6パーセントを占め，前年度比1億 5,280万円の減となりました。

国庫補助金は9,986万 1,000円で資本的収入の9.2パーセントを占め，前年度比4,971万 4,000円の増となりました。

都補助金は6,830万 7,000円で資本的収入の6.3パーセントを占め，前年度比6,581万 1,000円の増となりました。

他会計負担金は5,314万 5,435円で資本的収入の4.9パーセントを占め，前年度比1,857万 636円の減となりました。

一方，資本的支出のうち，建設改良費は11億 1,412万 3,035円（管渠建設改良費9億 1,046万 4,938円，流域下水道費1億 6,247万 5,237円等）で資本的支出の76.5パーセントを占め，前年度比4,475万 5,914円の減となりました。

固定資産購入費は28万 8,750円で資本的支出の0.02パーセントを占め，前年度比16万 7,750円の増となりました。

企業債償還金は3億 4,169万 4,058円で資本的支出の23.5パーセントを占め，前年度比1,725万 8,008円の増となりました。

a 資本的収支の概要（前年度との増減の比較）

（消費税込，単位：円）

科 目	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
資本的収入	1,083,713,435	1,144,999,424	△61,285,989	△5.4%
企業債	862,400,000	1,015,200,000	△152,800,000	△15.1%
国庫補助金	99,861,000	50,147,000	49,714,000	99.1%
都補助金	68,307,000	2,496,000	65,811,000	著増
他会計負担金	53,145,435	71,716,071	△18,570,636	△25.9%
分担金及び負担金	0	5,440,353	△5,440,353	皆減
資本的支出	1,456,105,843	1,483,435,999	△27,330,156	△1.8%
建設改良費	1,114,123,035	1,158,878,949	△44,755,914	△3.9%
固定資産購入費	288,750	121,000	167,750	138.6%
企業債償還金	341,694,058	324,436,050	17,258,008	5.3%
資本的収支不足額	372,392,408	338,436,575	33,955,833	10.0%

b 資本的支出の財源及び資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額の内訳

科 目	決算額	財源内訳		
		資本的収入	企業債	国・都補助金
建設改良費	1,114,123,035	1,031,008,000	862,400,000	168,168,000
管渠建設改良費	910,464,938	875,268,000	707,100,000	168,168,000
建設改良事務費	41,182,860	440,000	0	0
流域下水道費	162,475,237	155,300,000	155,300,000	0
固定資産購入費	288,750	0	0	0
固定資産購入費	288,750	0	0	0
企業債償還金	341,694,058	52,705,435	0	0
企業債償還金	341,694,058	52,705,435	0	0
計	1,456,105,843	1,083,713,435	862,400,000	168,168,000

c 補てん財源の内訳

内 訳	前年度	
	留保額 （使用可能額）	補てん額 （使用額）
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	89,007,087	89,007,087
過年度分損益勘定留保資金	414,713,670	249,429,488
当年度分損益勘定留保資金	584,963,364	0
計	1,088,684,121	338,436,575

※ 補てん額は，資本的収支不足額への補てん額

		資本的収入額が 資本的支出額に 対し不足する額
他会計負担金	分担金・負担金	
440,000	0	83,115,035
0	0	35,196,938
440,000	0	40,742,860
0	0	7,175,237
0	0	288,750
0	0	288,750
52,705,435	0	288,988,623
52,705,435	0	288,988,623
53,145,435	0	372,392,408

(単位：円)

差引残高	当年度		差引残高	補てん財源差引残高増減	
	留保額 (使用可能額)	補てん額 (使用額)		増減額	増減率
0	75,934,868	75,934,868	0	0	-
165,284,182	750,247,546	296,457,540	453,790,006	288,505,824	174.6%
584,963,364	540,518,787	0	540,518,787	△44,444,577	△7.6%
750,247,546	1,366,701,201	372,392,408	994,308,793	244,061,247	32.5%

オ 建設改良費・固定資産購入費に係る事業の状況

(消費税込, 単位: 円)

事業名	令和5年度	令和4年度	増減額	令和5年度の主な内容
浸水対策事業	2,362,113	164,537,873	△162,175,760	狛江市根川雨水幹線建設改良負担金
老朽化・劣化対策事業	351,013,190	275,228,582	75,784,608	ストックマネジメント工事に係る設計等委託料, 点検業務委託料, 工事費
自然流下化事業	395,844,620	491,476,912	△95,632,292	公共下水道42号幹線新設工事(自然流下化工事)に係る土地賃借料, 移設工事等補償費, 工事費
調布都市計画道路整備事業等に伴う下水道整備事業	161,245,015	82,168,958	79,076,057	都市計画道路等整備に伴う下水道整備費
建設改良事務費	41,182,860	39,904,230	1,278,630	主に設計業務や工事監督業務等に従事する常勤職員4人分の人件費, 職員旅費
流域下水道事業	162,475,237	105,562,394	56,912,843	流域下水道建設負担金, 流域下水道改良負担金
固定資産購入費	288,750	121,000	167,750	ソフトウェア購入費
計	1,114,411,785	1,158,999,949	△44,588,164	

(2) 経営指標に関する事項

「経営状況に関する経営指標」について、経営の健全性を表す①経常収支比率は 99.17パーセントで、基準となる 100パーセントを僅かに下回りました。

また、営業収益に対する当年度未処理欠損金の割合を表す②累積欠損金比率は2.32パーセントで、前年度比で1.17ポイント悪化しました。なお、令和2年度に策定した「調布市下水道ビジョン」の推計では、今後数年間は累積欠損金比率の上昇が続く見込みです。

次に、下水道使用料で回収すべき経費を、どの程度下水道使用料で賄えているかを表す③経費回収率は 88.97パーセントで、管路補修工事費及び下水道使用料徴収委託料等の増加による汚水処理費の増により、前年度比で2.73ポイント悪化しました。なお、③経費回収率は、基準となる 100パーセントを下回っており、類似団体平均値や全国平均値よりも低い水準にあります。

「財政状態に関する経営指標」について、短期的な債務に対する支払能力を表す⑥流動比率は、基準となる 100パーセントを超えており、決算後1年以内に支払を要する負債に対する資金があることを示しています。

次に、企業債残高の規模を表す⑦企業債残高対事業規模比率は186.39パーセントで、22.73ポイント上昇しています。これは、前年度に引き続き自然流下化事業費及び老朽化・劣化対策事業費等に対する借入れに伴い、企業債残高が増加したのですが、類似団体平均値や全国平均値よりも大幅に低い水準となっています。

「下水道施設の老朽化の状況に関する経営指標」について、有形固定資産の減価償却の進行状況を表す⑧有形固定資産減価償却率は 23.30パーセントで、前年度比で5.24ポイント上昇しました。令和2年度の公営企業会計への移行から間もないため、類似団体平均値や全国平均値よりも低い水準にありますが、今後は、老朽化の進行により上昇する見込みです。

また、法定耐用年数の50年を超えた管渠延長の割合を表す⑨管渠老朽化率は 20.58パーセントで、前年度比で7.30ポイント上昇しました。

これに対し、当該年度に修繕・改良・更新した管渠延長の割合を表す⑩管渠改善率は 0.06パーセントとなっていますが、管路の予防保全のため点検を実施した管渠延長の累計割合を表す⑪累計管渠点検率は 40.33パーセントで、前年度比で4.79ポイント向上しています。

以上のことから、進行する管渠の老朽化に対応するため、下水道施設の維持管理について事後保全型から予防保全型への転換に向けた取組をより一層推進するとともに、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査による管路状態の早期把握及び対策工事の着実な実施が必要となっています。また、経営状況及び財政状態の改善のために、令和6年度に予定する経営戦略改定にあたって、経費回収率の向上及び現金預金残高の確保について検討して参ります。

ア 経営指標の推移

項 目	令和5年度		令和4年度	
	調布市実績値	調布市実績値	類似団体 平均値	全国 平均値
比較団体数	-	-	32団体	1,175団体
経営状況に関する経営指標				
① 経常収支比率	99.17%	100.32%	107.29%	106.11%
② 累積欠損金比率	2.32%	1.15%	0.90%	3.15%
③ 経費回収率	88.97%	91.70%	101.87%	97.61%
④ 使用料単価	74.86円	74.56円	113.97円	134.98円
⑤ 汚水処理原価	84.14円	81.31円	111.88円	138.29円
財政状態に関する経営指標				
⑥ 流動比率	158.84%	141.62%	100.73%	73.44%
⑦ 企業債残高対事業規模比率	186.39%	163.66%	481.88%	652.82%
下水道施設の老朽化の状況に関する経営指標				
⑧ 有形固定資産減価償却率	23.30%	18.06%	26.87%	39.74%
⑨ 管渠老朽化率	20.58%	13.28%	12.40%	7.62%
⑩ 管渠改善率	0.06%	0.04%	0.16%	0.23%
⑪ 累計管渠点検率	40.33%	35.54%	-	-

※ 類似団体平均値は、公共下水道を管理する団体のうち、処理区域内人口が10万人以上か

(参考) 経営指標の算出根拠 (調布市実績値)

経 営 状 況	項目	令和5年度	令和4年度	財 政 状 態	項目
	経常収益	4,226,303	4,173,279		流動資産
経常費用	4,261,817	4,160,125	流動負債		
当年度未処理欠損金	68,539	33,026	企業債現在高		
営業収益	2,951,416	2,868,869	企業債現在高のうち一般会計負担額		
受託工事収益	0	0	雨水処理負担金		
下水道使用料	1,812,435	1,816,055			
汚水処理費	2,037,044	1,980,368			
年間有収水量 (m ³)	24,209,862	24,357,182			

イ 汚水処理費・雨水処理費等の内訳

科 目	決算額	令和5年度	
		汚水処理費	雨水処理費
維持管理費	2,343,312,136	1,547,632,393	781,413,288
管渠費	386,614,892	189,571,686	194,958,123
ポンプ場費	50,129,657	50,129,657	0
流域下水道管理運営費	1,388,940,949	838,580,589	538,923,688
総係費	444,808,127	396,531,950	47,531,477
雑支出	72,818,511	72,818,511	0
資本費	1,918,504,541	489,412,522	286,471,058
減価償却費	1,803,740,246	438,756,457	247,627,849
資産減耗費	10,255,787	1,057,007	294,269
支払利息	104,508,508	49,599,058	38,548,940
企業債取扱諸費	0	0	0
計	4,261,816,677	2,037,044,915	1,067,884,346

備 考
経常収益÷経常費用
当年度未処理欠損金÷(営業収益 - 受託工事収益)
下水道使用料÷汚水処理費
下水道使用料÷年間有収水量(有収水量1 m ³ 当たりの下水道使用料)
汚水処理費÷年間有収水量(有収水量1 m ³ 当たりの汚水処理費)
流動資産÷流動負債
(企業債現在高 - 一般会計負担額)÷(営業収益 - 受託工事収益 - 雨水処理負担金)
有形固定資産減価償却累計額÷償却対象資産の帳簿原価
法定耐用年数(50年)を経過した管渠延長÷下水道布設延長
修繕・改良・更新管渠延長÷下水道布設延長
平成30年度以降の管渠点検延長累計÷下水道布設延長

つ人口密度が1ヘクタール当たり100人以上の団体の平均値

(単位：単位表記のない項目は千円)

令和5年度	令和4年度	老下 朽水 化道 の施 状設 況の	項目	令和5年度	令和4年度
1,679,959	1,427,036			有形固定資産減価償却累計額	7,059,299
1,057,648	1,007,652		償却対象資産の帳簿原価	30,292,448	29,771,894
8,337,722	7,817,016		法定耐用年数を経過した管渠延長(km)	116.26	75.04
4,905,680	4,837,859		下水道布設延長(km)	565	565
1,110,122	1,048,547		修繕・改良・更新管渠延長(km)	0.35	0.22
			平成30年度以降の管渠点検延長累計(km)	227.85	200.82

(消費税抜, 単位：円)

その他公費負担分	長期前受金戻入分	汚水処理原価 (単位：円/m ³)	令和4年度	汚水処理原価 増減額 (単位：円/m ³)
			汚水処理原価 (単位：円/m ³)	
14,266,455	0	63.93	60.51	3.42
2,085,083	0	7.83	6.79	1.04
0	0	2.07	2.00	0.07
11,436,672	0	34.64	34.74	△0.10
744,700	0	16.38	14.19	2.19
0	0	3.01	2.80	0.21
24,173,510	1,118,447,451	20.22	20.80	△0.58
1,043,000	1,116,312,940	18.12	18.81	△0.69
6,770,000	2,134,511	0.04	0.05	△0.01
16,360,510	0	2.05	1.94	0.11
0	0	0	0	0
38,439,965	1,118,447,451	84.14	81.31	2.83

2 収益的収支及び資本的収支の内訳

(1) 収益的収支の状況

(消費税抜, 単位: 円)

収入			
区分	令和5年度	令和4年度	増減額
営業収益	2,951,416,476	2,868,868,812	82,547,664
下水道使用料	1,812,435,366	1,816,054,805	△3,619,439
雨水処理負担金	1,110,122,368	1,048,547,068	61,575,300
その他営業収益	28,858,742	4,266,939	24,591,803
営業外収益	1,274,886,911	1,304,410,223	△29,523,312
受取利息及び配当金	13,272	10,872	2,400
他会計負担金	40,469,142	33,744,110	6,725,032
長期前受金戻入	1,231,193,956	1,267,557,512	△36,363,556
雑収益	3,210,541	3,097,729	112,812
合計	4,226,303,387	4,173,279,035	53,024,352

(消費税抜, 単位: 円)

支出			
区分	令和5年度	令和4年度	増減額
営業費用	4,084,489,658	3,994,380,015	90,109,643
管渠費	386,614,892	331,987,064	54,627,828
ポンプ場費	50,129,657	48,714,352	1,415,305
流域下水道管理運営費	1,388,940,949	1,372,583,128	16,357,821
総係費	444,808,127	388,574,595	56,233,532
減価償却費	1,803,740,246	1,848,956,851	△45,216,605
資産減耗費	10,255,787	3,564,025	6,691,762
営業外費用	177,327,019	165,745,027	11,581,992
支払利息及び企業債取扱諸費	104,508,508	97,608,110	6,900,398
雑支出	72,818,511	68,136,917	4,681,594
合計	4,261,816,677	4,160,125,042	101,691,635

(2) 資本的収支の状況

(消費税込, 単位: 円)

収入			
区分	令和5年度	令和4年度	増減額
企業債	862,400,000	1,015,200,000	△152,800,000
企業債	862,400,000	1,015,200,000	△152,800,000
国庫補助金	99,861,000	50,147,000	49,714,000
国庫補助金	99,861,000	50,147,000	49,714,000
都補助金	68,307,000	2,496,000	65,811,000
都補助金	68,307,000	2,496,000	65,811,000
他会計負担金	53,145,435	71,716,071	△18,570,636
他会計負担金	53,145,435	71,716,071	△18,570,636
分担金及び負担金	0	5,440,353	△5,440,353
分担金及び負担金	0	5,440,353	△5,440,353
合計	1,083,713,435	1,144,999,424	△61,285,989

(消費税込, 単位: 円)

支出			
区分	令和5年度	令和4年度	増減額
建設改良費	1,114,123,035	1,158,878,949	△44,755,914
管渠建設改良費	910,464,938	1,013,412,325	△102,947,387
建設改良事務費	41,182,860	39,904,230	1,278,630
流域下水道費	162,475,237	105,562,394	56,912,843
固定資産購入費	288,750	121,000	167,750
固定資産購入費	288,750	121,000	167,750
企業債償還金	341,694,058	324,436,050	17,258,008
企業債償還金	341,694,058	324,436,050	17,258,008
合計	1,456,105,843	1,483,435,999	△27,330,156